

GX 実行会議提出メモ

白石 隆

以下、メモを提出いたします。

- (1) GX 政策は、2050年カーボン・ニュートラル(CN)達成をターゲットとしつつ、これを好機に、我が国のエネルギー構造と産業構造を転換し、国力を増進し、さらにエネルギー安全保障を含む経済安全保障と国家安全保障に資することを旨とするので、21世紀における我が国の大戦略の重要な一環をなしております。
- (2) GX は企業にとっては巨額の投資と生産コストの上昇を伴うもので、それに応じた価格の上昇なしにはうまくいきません。その意味で、GX 政策はS+3E（安全、安定供給、環境、効率性）を柱としつつ、供給サイド支援（研究開発・投資支援、税制等）と需要創出（環境プレミアムを考慮した規制の導入などによる市場創出）の両方にしっかり目配りした産業政策である必要があります。
- (3) GX の主体は民間企業であり、政府の GX 政策、特に産業政策によって、民間企業の予測可能性を上げることが、民間投資を伸ばし、産業構造を転換することにつながります。そのためには我が国のエネルギー政策、特に原子力政策、電池、太陽光発電、洋上風力等のクリーン・エネルギー政策堅持がきわめて重要です。
- (4) GX のコストはサプライチェーン全体として負担すべきもので、しかも、国境を超えて拡がるサプライチェーンの現状、中国の過剰投資・過剰生産・ダンピング輸出を考えれば、GX 政策は国際通商政策と緊密に連携して実施されるべきものと考えます。